

**PMP®**

# 試験内容の概要

プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル (PMP)®





# プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル (PMP)<sup>®</sup> 資格認定試験内容の概要

## 2026年7月 PMP<sup>®</sup>資格認定試験の最新 情報

発行： Project Management Institute, Inc. (プロジェクトマネジメント協会)  
18 Campus Boulevard, Suite 150  
Newtown Square, Pennsylvania 19073-3299 USA

© 2025 Project Management Institute, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

「PMI」、PMIロゴ、および「PMP」は、Project Management Institute, Inc. の商標です。PMIマークの包括的なリストについては、PMI法務部にお問い合わせください。

# 目次

はじめに .....	4
試験内容の概要 .....	5
ドメイン、タスク、実現要因 .....	6
ドメイン I 人々-33% .....	7
ドメイン II プロセス - 41% .....	9
ドメインIII ビジネス環境-26% .....	12
PMP資格認定の受験資格要件 .....	14
PMP資格認定試験の情報 .....	18
PMP資格認定試験の受験 .....	22
PMP資格認定試験の再受験 .....	22
謝辞 .....	23
資格認定継続要件（CCR）プログラム .....	24
リソース資料 .....	24

# はじめに

プロジェクトマネジメント協会（PMI）は、国際的に認知されているプロジェクト・マネジャー向けの専門資格であるプロジェクトマネジメント・プロフェッショナル（PMP）<sup>®</sup>認定を提供しています。PMI試験の開発プロセスは、他の認定プログラムとは一線を画しています。PMIは、[教育および心理検査の基準](#)に見られるものなど、認定業界のベストプラクティスにプロセスを整合させています。PMP<sup>®</sup>資格は、国際的に認められたISO/ANSI 17024規格およびISO 9001に適合しています。<sup>1</sup>

公正で信頼性の高い認定試験の開発に不可欠な要件は、評価対象となる職務の分析、標準および実務慣行の市場アセスメントです。PMPはグローバルな資格であることから、PMIは受験者を評価するための基準参照アプローチを含むジョブ・タスク分析（JTA）を実施しました。

人工知能（AI）や持続可能性など、これまでPMP 資格認定試験では取り上げられていなかった職業におけるいくつかの新しい傾向が現れたことで、PMIがこれらの傾向が専門的実務慣行の期待に与える影響を評価することが重要になりました。これらの傾向は、PMP資格認定試験に含まれるタスクとの関連性と相関性を検証するために、JTAのインプットとして使用されます。妥当性確認は、現実的な職場環境と、プロジェクトの成功につながると特定された働き方の観点から、プロジェクトマネジメントの専門職において最も重要で、頻繁に実行される要素を各試験が測定していることを確認します。

PMP資格認定試験は、この専門資格を取得するために不可欠なものであり、試験がプロジェクト・マネジャーの実務慣行を正確に反映していることが不可欠です。試験のすべての問題は、有効なPMP資格認定を持つ当該分野専門家（SME）によって作成され、広範囲にわたってレビューされています。採点対象の質問については、受験者を正確かつ公正に評価する有用性を確認するための予備テストが実施されます。これらの質問は、*PMP資格認定試験内容の概要（ECO）*にマッピングされており、有効な試験に適切な数の質問が含まれるようになっています。

PMIは、Alpine Testing Solutions社に依頼し、グローバルな*PMP資格認定試験内容の概要*を作成しました。Alpine Testing Solutionsは、資格認定プログラムや教育プログラム向けに、心理測定、テスト開発、資格管理ソリューションを提供しています。

最後に、この改訂された*PMP資格認定試験内容の概要*と*プロジェクトマネジメント知識体系ガイド（PMBOK<sup>®</sup>ガイド）*の間には、顕著な相違点があります。この作業班のメンバーは、経験と適切な資源に基づき、プロジェクトをリード、指揮する個人の重要なジョブ・タスクの概要を説明する任務を負っていました。受験者は、プロジェクトマネジメントの概念と自身の経験を、シナリオベースの一連の質問を通じ、実務上の状況に適用することを求められます。*PMBOK<sup>®</sup>ガイド*は、行動を導く原理原則、共通の技術分野、良い実務慣行と働き方を反映したプロセスなどの内容を組み合わせ、プロジェクトのマネジメントに関連する活動を導くための中核的な知識を提供します。PMP資格認定試験では、プロジェクトのリードとマネジメントの経験に基づき、実務慣行を真剣に考え適用する、候補者の能力を評価します。

<sup>1</sup> アメリカ教育研究協会、米国教育測定学会、米国心理学会との共刊。PMP資格認定は、米国国家規格協会（ANSI）による、国際的に認められたISO/IEC 17024標準の認定も受けています。適合性アセスメント—認証を実施する機関に関する一般要求事項。

# 試験内容の概要

以下の表は、各ドメインの質問が試験に占める割合を示しています。

ドメイン	テスト項目の割合
I. 人々	33%
II. プロセス	41%
III. ビジネス環境	26%
合計	100%

**重要な注意点：** JTAを通して行われた調査では、今日のプロジェクトマネジメント実務者が様々なプロジェクト環境で業務を行い、異なるプロジェクトマネジメント開発アプローチを活用していることが確認されました。PMP資格認定は、これを反映して価値の提供範囲全体におよぶアプローチを盛り込んでいます。予測型アプローチ、適応/アジャイル型アプローチ、ハイブリッド型マネジメント・アプローチは前述の3つのドメイン全体に関連し、特定の領域やタスクに限られるものではありません。出題される項目の約40%は予測型プロジェクトマネジメント・アプローチで、残りの60%は適応/アジャイル型アプローチとハイブリッド型マネジメント・アプローチに分かれています。各質問タイプとアプローチの正確な項目数は、フォームによって異なる場合があります。当社のスコアリング・モデルは、知識とスキルを有効にアセスメントできるよう、スコアリングの専門家によって定期的にレビューされています。詳細については、[PMI資格認定ハンドブック](#)の試験報告のセクションをご確認ください。

# ドメイン、タスク、実現要因

この文書では、JTAで定義されたドメイン、タスク、実現要因を含む、PMP資格認定試験内容の概要（ECO）の構造について詳しく説明します。

- **ドメイン**：プロジェクトマネジメントの実務慣行に不可欠なハイレベル（上位レベル）の知識エリアとして定義されます。
- **タスク**：各ドメインエリア内でのプロジェクト・マネジャーの基本的な責任です。
- **実現要因**：このタスクに関連する作業の例を示しています。実現要因は、すべてを網羅するリストではなく、タスクに含まれるものを示すいくつかの例であることにご注意ください。

各PMP資格認定試験には、各ドメインのすべてのタスクに関する質問が含まれ、PMIは前のページで概説されているとおり、ドメインレベルでの範囲の割合を遵守します。

以下に、タスク構造の例を示します。

<b>ドメイン</b> ：	人々
<b>タスクの記述</b> ：	知識の伝達を確実にするよう支援する <ul style="list-style-type: none"><li>- プロジェクトに不可欠な知識を特定する</li></ul>
<b>実現要因</b> ：	<ul style="list-style-type: none"><li>- 知識を収集する</li><li>- 知識伝達の環境を育成する</li></ul>

ECOはPMI ソート・リーダーシップ・レポートと整合しており、[プロジェクトの成功を最大化](https://www.pmi.org/learning/thought-leadership/project-success)します：<https://www.pmi.org/learning/thought-leadership/project-success> プロジェクト専門家の影響力を高める。私たちの世界への影響を高める 研究では、プロジェクトの成功を、スケジュール、予算、スコープといった従来のメトリックス（プロジェクトマネジメントの成功の特徴）に基づいて再構築し、ステークホルダーの価値と望ましい成果の達成を含む、より広い視点を取り入れました。この大規模な研究は、プロジェクトが**努力と費用に見合う価値**を提供したと認識された場合の、プロジェクトの成功の定義に関する、新たなコンセンサスの見解に貢献しました。

ドメイン I 人々-33%	
<b>タスク 1</b>	<b>共通のビジョンを育む</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要ステークホルダーとの共有ビジョンの確保を支援する。</li> <li>● 共有ビジョンを推進する。</li> <li>● ビジョンを常に最新の状態に保つ。</li> <li>● 状況を細分化して、ビジョンに関する誤解の根本原因を特定する。</li> </ul>
<b>タスク 2</b>	<b>コンフリクトを管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンフリクトの原因を特定する。</li> <li>● コンフリクトの背景を分析する。</li> <li>● 合意された解決策に関する戦略を実施する。</li> <li>● コンフリクト・マネジメントの原則をチームおよび外部のステークホルダーに伝達する。</li> <li>● 共通の行動規範の順守を促進する環境を確立する。</li> <li>● 行動規範の違反を管理し、是正する。</li> </ul>
<b>タスク 3</b>	<b>プロジェクト・チームをリードする</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● チーム・レベルで期待を確立する。</li> <li>● チームに裁量を与える。</li> <li>● 問題を解決する。</li> <li>● チームの意見を代弁する。</li> <li>● チームの多様な経験、スキル、視点をサポートする。</li> <li>● 適切なリーダーシップ・スタイルを決定する。</li> <li>● チーム内で明確な役割と責任を確立する。</li> </ul>
<b>タスク 4</b>	<b>ステークホルダーを関与させる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステークホルダーを特定する。</li> <li>● ステークホルダーを分析する。</li> <li>● ステークホルダーのニーズに合わせてコミュニケーションを分析し、調整する。</li> <li>● ステークホルダー・エンゲージメント計画書を実行する。</li> <li>● ステークホルダーのニーズ、期待、プロジェクト目標間の整合性を最適化する。</li> <li>● プロジェクトの目標を達成するため、ステークホルダーとの信頼関係を構築し、影響を与える。</li> </ul>
<b>タスク 5</b>	<b>ステークホルダーの期待を調整</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステークホルダーを分類する。</li> <li>● ステークホルダーの期待を特定する。</li> <li>● 期待を合わせるための話し合いを促進する。</li> <li>● メンタリングの機会を設け、活用する。</li> </ul>
<b>タスク 6</b>	<b>ステークホルダーの期待をマネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部および外部の顧客の期待を特定する。</li> <li>● 成果を内部および外部の顧客の期待に合わせ、維持する。</li> <li>● 内部および外部の顧客満足や期待を監視し、必要に応じて対応する。</li> </ul>

<b>タスク 7</b>	<b>知識の伝達を確実にするよう支援する</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● プロジェクトに不可欠な知識を特定する。</li><li>● 知識を収集する。</li><li>● 知識伝達環境を育成する。</li></ul>
<b>タスク 8</b>	<b>コミュニケーションの計画と管理</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● コミュニケーション戦略を定義する。</li><li>● 透明性と協働を促進する。</li><li>● フィードバック・ループを確立する。</li><li>● 報告要求事項を理解する。</li><li>● スポンサーやステークホルダーの期待に沿った報告書を作成する。</li><li>● 報告およびガバナンス・プロセスをサポートする。</li></ul>

## ドメイン II プロセス – 41%

<p><b>タスク 1</b></p>	<p><b>統合プロジェクトマネジメント計画書を作成し、デリバリーを計画する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトのニーズ、複雑さ、規模を評価する。</li> <li>プロジェクトマネジメントの開発アプローチ（予測型、適応/アジャイル型、またはハイブリッド型マネジメント）を推奨する。</li> <li>重要な情報の要求事項を決定する（持続可能性など）。</li> <li>プロジェクトの実施戦略を推奨する。</li> <li>統合プロジェクトマネジメント計画書を作成する。</li> <li>作業工数と資源要求事項を見積もる。</li> <li>統合されたプロジェクト計画書における依存関係、ギャップ、継続的な事業価値を評価する。</li> <li>統合プロジェクトマネジメント計画書を維持する。</li> <li>プロジェクトに関する判断を十分な情報に基づいて下せるように、データの収集と分析を行う</li> </ul>
<p><b>タスク 2</b></p>	<p><b>プロジェクト・スコープの作成とマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スコープを定義する。</li> <li>プロジェクト・スコープについてステークホルダーの合意を得る。</li> <li>スコープを分解する。</li> </ul>
<p><b>タスク 3</b></p>	<p><b>価値ベースのデリバリーを確実に支援する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要ステークホルダーとともに価値コンポーネントを特定する。</li> <li>価値とステークホルダーのフィードバックに基づいて作業を優先順位付けする。</li> <li>価値を漸進的に提供する機会を評価する</li> <li>プロジェクト全体を通して事業価値を検証する。</li> <li>ベネフィットを追跡調査する測定システムが整っていることを確認する。</li> <li>価値を示す成果オプションを評価する。</li> </ul>
<p><b>タスク 4</b></p>	<p><b>資源の計画とマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要求事項に基づいて資源を定義し、計画する。</li> <li>必要な資源と可用性をマネジメントし、最適化する。</li> </ul>
<p><b>タスク 5</b></p>	<p><b>調達計画とマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調達を計画する。</li> <li>調達マネジメント計画書を実行する。</li> <li>希望する契約タイプを選択する。</li> <li>ベンダーのパフォーマンスを評価する。</li> <li>調達合意の目標を達成できたか検証する。</li> <li>合意に向けた交渉に参加する。</li> <li>交渉戦略を決定する。</li> <li>サプライヤーと契約を管理する。</li> <li>調達戦略を計画し、管理する。</li> <li>デリバリー・ソリューションを開発する。</li> </ul>

<p><b>タスク 6</b></p>	<p><b>財務の計画と管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの財務ニーズを分析する。</li> <li>リスクとコンティンジェンシーの財務割当てを定量化する。</li> <li>プロジェクト・ライフサイクル全体で支出の追跡調査を計画する。</li> <li>財務報告の計画を立てる。</li> <li>財務に関する将来的な課題を予測する。</li> <li>財務の変動を監視し、ガバナンス・プロセスと連携する。</li> <li>財務予備を管理する。</li> </ul>
<p><b>タスク 7</b></p>	<p><b>プロダクト/成果物の品質の計画と最適化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの成果物に対する品質要求事項を収集する。</li> <li>品質プロセスとツールを計画する。</li> <li>品質マネジメント計画書を実行する。</li> <li>規制コンプライアンスを支援する。</li> <li>品質コスト (CoQ) と持続可能性を管理する。</li> <li>品質レビューを継続的に実施する。</li> <li>継続的改善を実施する。</li> </ul>
<p><b>タスク 8</b></p>	<p><b>スケジュールの計画と管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選択された開発アプローチに基づいてスケジュールを作成する。</li> <li>他のプロジェクトや運用との調整を行う。</li> <li>プロジェクトのタスク (マイルストーン、依存関係、ストーリー・ポイント) を見積もる。</li> <li>ベンチマークと履歴データを活用する。</li> <li>プロジェクト・スケジュールを作成する。</li> <li>プロジェクト・スケジュールのベースラインを設定する。</li> <li>スケジュール・マネジメント計画書を実行する。</li> <li>スケジュールの変動を分析する。</li> </ul>
<p><b>タスク 9</b></p>	<p><b>プロジェクトの状況を評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトのメトリックスを策定し、分析、調整する。</li> <li>必要な作成物を特定し、テラーする。</li> <li>作成物の作成、レビュー、更新、文書化が確実に行われるように支援する。</li> <li>作成物のアクセシビリティの確保を支援する。</li> <li>現在の進捗を評価する。</li> <li>プロジェクトのメトリックスを測定、分析、更新する。</li> <li>プロジェクトの状況を伝達する。</li> <li>作成物マネジメントの有効性を継続的に評価する。</li> </ul>
<p><b>タスク 10</b></p>	<p><b>プロジェクト終結のマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの完了についてプロジェクト・ステークホルダーの承認を得る。</li> <li>プロジェクトまたはフェーズを適切に終結させるための基準を決定する。</li> <li>(業務チームまたは次のフェーズなどへの) 移管に対する準備状況を確認する。</li> <li>プロジェクトまたはフェーズを終結させるためのアクティビティ (最終的な教訓、レトロ</li> </ul>

	スペクティブ（振り返り）、調達、資金、資源などを完結させる。
--	--------------------------------

ドメインIII ビジネス環境-26%	
<b>タスク 1</b>	<p><b>プロジェクト・ガバナンスの定義と確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織のプロセス資産（OPA）の活用を通じて、構造、ルール、手続き、報告書、倫理、方針を説明し、確立する。</li> <li>● 成功のメトリックスを定義する。</li> <li>● ガバナンスのエスカレーション・パスとしきい値の概要を説明する。</li> </ul>
<b>タスク 2</b>	<p><b>プロジェクトのコンプライアンスの計画とマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクトのコンプライアンス要求事項（セキュリティ、安全衛生、持続可能性、規制順守など）を確認する。</li> <li>● コンプライアンスのカテゴリーを分類する。</li> <li>● コンプライアンスに関する潜在的脅威を特定する。</li> <li>● コンプライアンスのサポート方法を使う。</li> <li>● コンプライアンス違反の結果を分析する。</li> <li>● コンプライアンスのニーズへの対応に必要なアプローチとアクションを特定する。</li> <li>● プロジェクトのコンプライアンス順守の度合いを測定する。</li> </ul>
<b>タスク 3</b>	<p><b>変更のマネジメントとコントロール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 変更管理プロセスを実行する。</li> <li>● 提案された変更の状況を伝達する。</li> <li>● 承認された変更をプロジェクトに導入する。</li> <li>● プロジェクト文書を更新して変更を反映する。</li> </ul>
<b>タスク 4</b>	<p><b>障害を取り除き、課題をマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害の影響度を評価する。</li> <li>● 障害を優先的付けし、強調する。</li> <li>● 障害を取り除くまたは最小限に抑える、介入戦略を決定し、適用する。</li> <li>● チームの障害や障壁、ブロッカーに対処しているかを確認するために、継続的な再評価を実施する。</li> <li>● リスクが課題になる時を認識する。</li> <li>● 課題の解決へのアプローチについて、関連するステークホルダーと協力する</li> </ul>
<b>タスク 5</b>	<p><b>リスクの計画とマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● リスクを特定する。</li> <li>● リスクを分析する。</li> <li>● リスクを監視・コントロールする。</li> <li>● リスク・マネジメント計画書を作成する。</li> <li>● リスク登録簿を維持する（ITセキュリティの不備など）。</li> <li>● リスク・マネジメント計画書を実行する（セキュリティのリスク対応、持続可能性リスクの管理など）。</li> <li>● プロジェクトに対するリスクの影響度の状況を伝達する。</li> </ul>

<b>タスク 6</b>	<b>継続的改善</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 教訓を活用する。</li><li>● 継続的改善プロセスが確実に更新されるように支援する。</li><li>● 組織のプロセス資産（OPA）を更新する。</li></ul>
<b>タスク 7</b>	<b>組織の変更をサポート</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 組織文化を評価する。</li><li>● 組織の変更がプロジェクトに与える影響を評価し、必要なアクションを決定する。</li></ul>
<b>タスク 8</b>	<b>外部ビジネス環境の変化を評価</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 外部ビジネス環境（規制、技術、地理的な、市場など）の変化を調査する。</li><li>● 外部ビジネス環境の変化に基づき、プロジェクト・スコープ/バックログに対する影響度を評価し、優先順位付けする。</li><li>● 外部ビジネス環境のプロジェクト・スコープ/バックログに対する影響度を継続的にレビューする。</li></ul>

# PMP資格認定の受験資格要件

PMP資格認定保有者には、学術的トレーニングや商業的トレーニングに加え、プロジェクト実務者としての職務経験を含む堅牢な背景を有していることが期待されます。PMP資格認定の受験者は、PMP資格認定試験の受験資格を得るために申し込みをする必要があります。

PMP資格認定の受験資格を得るには、以下に記載する学歴と職務経験のいずれかの条件を満たす必要があります。プロジェクトマネジメントの経験は、申込書提出前の10年以内に、業務上のプロジェクトで積んだ経験でなければなりません。

学歴	プロジェクトマネジメントの実務経験
後期中等教育/中等教育の修了（例：高等学校卒業証書、GED型中等教育同等資格、後期中等教育/学校卒業証明書は、 <a href="#">EQFレベル4</a> / <a href="#">ISCED 3-4</a> （または各国の枠組みで後期中等教育修了のレベル）に相当）。	過去10年間に於いて、プロジェクトをリードした経験（期間が重複しない）が60か月（5年）以上あること
<b>または</b>	
認定された準学士レベル、高等資格認定書、または高度な技術/職業プログラムを修了しており、それが <a href="#">EQFレベル5</a> / <a href="#">ISCED 5</a> （または各国の枠組みで後期中等教育後、短期高等教育として指定されたレベル）に相当すること。	過去10年間に於いて、プロジェクトをリードした経験（期間が重複しない）が48か月/4年間以上あること
<b>または</b>	
認定/認可された教育機関で取得した学士号（またはそれ以上）。または、 <a href="#">EQFレベル6</a> / <a href="#">ISCED 6</a> （または各国の枠組みで学士号と同等に指定されたレベル）に正式に相当するものとして位置づけられている高度な専門職/職業資格。*	過去10年間に於いて、プロジェクトを36か月以上（3年）リードした経験（期間が重複しない）があること
<b>または</b>	
<a href="#">PMIのグローバル認定センター（GAC）</a> による認定を受けたプログラムによって授与される学士号または大学院の学位。（GAC認定はプログラムの品質を示すものであり、これだけで受験資格の学位要件が変更されることはありません）。	過去10年間に於いて、プロジェクトをリードした経験（期間が重複しない）が最低24か月/2年間あること

申し込みが監査対象に選ばれた場合、学歴と真正性を確認する書類の提出が求められます。資格にフレームワークのレベルが記載されていない場合、申込者は次のいずれかを提出する必要があります。（a）国内資格登録簿のリンクまたは抜粋、（b）付与機関または関連省庁によるレベル確認の公式声明、または（c）認定された国内機関による正式評価。

\*学位以外の資格は、権限を有する機関が当該資格をEQF 6（または各国の学士号相当レベル）に明確にマッピングした場合のみ、この階層に適用されます。公式なレベル対応付けがない場合、「Advanced（上級）」、「Professional（プロフェッショナル）」、「Graduate（大学院生）」という語を含む肩書きは不十分です。

資格を満たす受験者は、PMPへの申し込みにおいて、プロジェクトをリードして指揮した職業経験があることを示す必要があります。『PMBOK®ガイド』の定義によると、プロジェクトとは、価値を創出するために独自のコンテキストにおいて実施される有期的な取り組みのことで、プロジェクトの有期的な性質とは、プロジェクト作業またはプロジェクト作業のフェーズの開始と終了を示します。プロジェクトの独自のコンテキストは、明確な目的、環境条件、アプローチ、ステークホルダー、またはその他の要素によって進められます。プロジェクトは、単独で実施されることもあれば、ポートフォリオやプログラムの一部として実施されることもあります（『PMBOK®ガイド』による定義）。

## 商用トレーニングの要件：

PMP資格認定の受験者は、上記のプロジェクトマネジメントの経験に加え、PMP資格認定試験内容の概要（ECO）で扱われているトピックに沿ったプロジェクトマネジメントの商用トレーニングを少なくとも35時間受講している必要があります。コースワークは、申し込みの該当セクションで完了する必要があります。以下のいずれかの教育プロバイダーのコースを修了することで、商業トレーニングの要件を満たすことができます。

- PMI認定トレーニング・パートナー（ATP）
- 中国の登録教育プロバイダー（REP）
- PMIプロジェクトマネジメント教育プログラムのグローバル認定センター（GAC）
- 認定された高等教育機関でのプロジェクトマネジメント・コース
- 雇用者/企業主催プログラム
- トレーニング企業またはコンサルタント（トレーニング・スクールなど）
- コース終了のアセスメントを含む、セルフペースのオンデマンド・トレーニングコース

## プロジェクトマネジメントの高等教育

PMP資格認定ECOに準拠したプロジェクトマネジメントの学習目標に対応する特定の指導による正式なトレーニングを少なくとも35時間受講したことを確認してください。トレーニング時間は、いつ取得したかに関わりなくすべて記録してください。資格認定を受ける前に、コースワークを修了する必要があります。

**注：**教室での指導1時間は、トレーニング1時間に相当します。15週間にわたり、週3時間のプロジェクトマネジメントの大学コースを修了した場合、45時間のトレーニングとして記録されます。コースの一部のみがプロジェクトマネジメントに関するものである場合、プロジェクトマネジメントに費やした時間のみが合計時間に算入されます。

学習コースの時間は、プロジェクトマネジメント関連のトピックを網羅している必要があります。これは、上記のPMP資格認定試験内容の概要（ECO）に詳述されており、プロジェクト・スコープ、プロジェクト・スケジュール、プロジェクト・コミュニケーション、プロジェクト・リスク、プロジェクト調達、プロジェクト財務、プロジェクト・リソース、プロジェクト・ステーク

ホルダー、プロジェクト統合マネジメント、プロジェクト・ガバナンスなどが含まれますが、これらに限定されません。

商業トレーニングは、特定の様式やプロバイダーに限定されないことに注意してください。ただし、すべてのトレーニングは監査対象となります。PMIは、トレーニングの品質に基づき、PMP資格認定の受験資格がないとみなす権利を留保します。また、品質が低いと判断されたトレーニングは、PMIの単独裁量で不合格とすることができます。最後に、書籍と模擬試験のみでは、適格な商業トレーニングとしては認められません。

PMIは、PMP®資格認定を定義する誠実さと信頼性を高め続けています。PMIはサードパーティのトレーニングプロバイダーを推奨または管理していませんが、認定トレーニングパートナー（ATP）プログラムにより、体系的な学習を選択した受験者が一貫した高品質の教育体験を利用できるよう支援しています。受験者は、トレーニングが最低35時間でECOに準拠していれば、自由な方法で準備することができます。PMIは、誤解を招く表現を使用したり、試験の合格を保証したりする団体と関わる際には、慎重になるよう、すべての人に呼びかけています。PMIは、認定プロセスの完全性と公正さを維持するために、信頼できる不正行為の報告を調査します。PMIは、ISO/IEC 17024:2012標準に準拠しており、PMP®申込システム内で強化された検証を導入しています。

## 事前学習パスに対するクレジット：

プロジェクトマネジメント・アソシエイト（CAPM）®認定資格をお持ちで、教育および職務経験の要件を満たしている場合は、35時間分のトレーニングを記録する必要はありません。プロジェクトマネジメント教育に関する要件は免除されます。現行のCAPM®認定を保持している場合、商業トレーニングの受講要件として35時間分の受講単位がクレジットとして認められます。

\*GAC認定の学位プログラムを修了した場合、完了したGACコースワークは、トレーニング35時間の要件を満たすためにもカウントできます。詳細は、[プロジェクトマネジメント教育プログラムのPMIグローバル認定センター（GAC）](#)をご覧ください。

## 経験と学歴を申込書に記録する方法

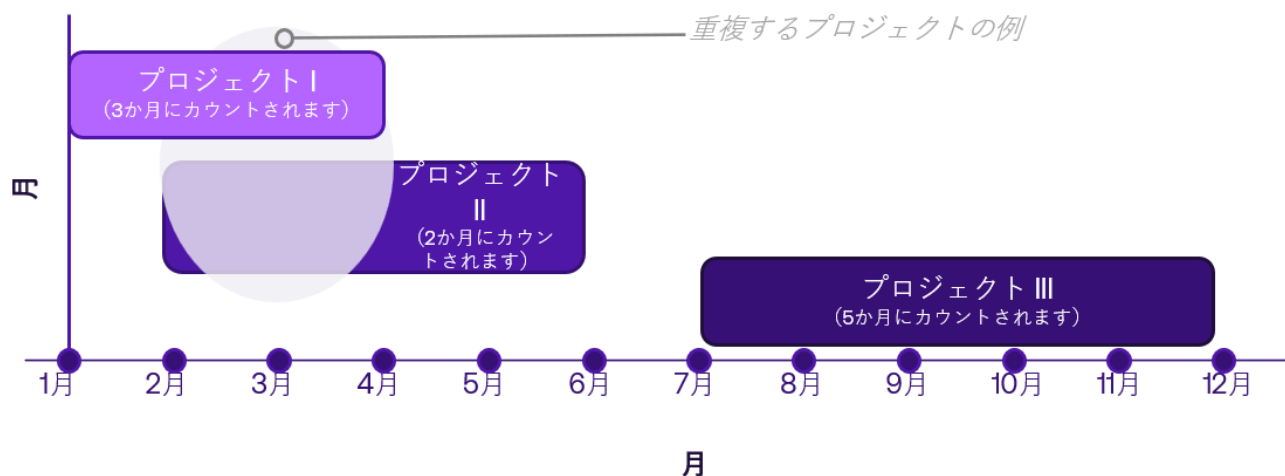
オンライン申込書の経験の検証セクションに、プロジェクトをリード、指揮したプロフェッショナルな作業経験を記録します。経験は無給のものでも構いませんが、プロフェッショナルな環境でのものである必要があります。学校のプロジェクト、学位授与プログラムのための学術研究、個人的なイベントの計画、または自宅の改修プロジェクトなどの活動はこれに該当しません。プロジェクトのエントリーに、ルーティンワーク、運用業務、管理タスクが含まれていないことを確認してください。

## プロジェクトマネジメント経験の月数

すべてのプロジェクト経験は、含まれるプロジェクトの数に関係なく、個別に記録する必要があります。在任期間はプロジェクト数ではなく月数で見ると、プロジェクトマネジメントの経験が6

か月の場合は、その期間に複数のプロジェクトにをリードしたとしても、6か月と記入してください。

以下の例では、プロジェクトIのリーダーを務めた期間（1月1日～3月31日）は、資格要件の期間として3か月とカウントされます。一方、プロジェクトIIをリードした期間（2月1日～5月31日）は、受験資格要件としては2か月としてカウントされます。2月から4月までの両方のプロジェクトをリードした期間を二重に数えることはできません。したがって、プロジェクトIとプロジェクトIIは、受験資格の要件であるプロジェクトマネジメント経験の5か月（1月1日～5月31日）に相当します。



PMP資格認定の受験資格を満たしていない方は、プロジェクトマネジメントの知識とスキルを向上させるために、[認定アソシエイト・イン・プロジェクトマネジメント \(CAPM\)®](#)などの他の認定資格の取得を検討するようお勧めします。

# PMP資格認定試験の情報

PMP資格認定試験は、選択肢が1つまたは複数の選択問題、ドラッグ・アンド・ドロップ問題に加え、ツール、データ、ケーススタディの問題を含む実技問題など、合計180問で構成されます。180問のうち、10問は予備問題とみなされます。予備問題はスコアに影響せず、将来の試験問題の有効性をテストする、効果的かつ合理的な方法として採用されています。すべての問題は、試験全体にランダムに配置されています。

採点対象の問題数	プレテスト問題数 (採点対象外)	試験問題数 合計
170	10	180

試験実施時間
240分

センターで受験する場合、試験の実施時間は240分です。割り当てられた時間よりも短い時間で試験を完了できる場合もあります。

PMP資格認定試験では、試験中に10分間の休憩が2回あります。最初の休憩はケーススタディ・セクションの後に、2回目の休憩は試験の独立問題部分のほぼ中間の時点で取ることができます。回答を確認し休憩を開始すると、試験前のセクションの問題には戻れませんので、ご注意ください。

合計240分間で180問に回答することになります。オンラインで受験される方は、オンライン監督試験（OPT）の休憩に関する以下のセクションをご参照ください。

試験の前にはチュートリアルがあり、試験の後にはアンケートが実施されます。どちらも任意です。チュートリアルとアンケートの実施時間は、試験時間の240分（4時間）には含まれません。

## PMP資格試験の問題形式：

**ケースまたはシナリオ（新）**：受験者には、詳細なシナリオや状況が示されます。これには、追加のコンテキストを提供するグラフやチャートが含まれることがあります。これは、ビジネス、プロジェクト、意思決定プロセス、またはその組み合わせの説明である場合があります。シナリオや状況、およびそれに付随するビジュアルを確認した後、受験者は提供されたすべての情報に基づいて一連の質問に回答します。（すべての受験形態で利用可能）

プロジェクト・マネジャーは、エネルギー効率を改善する新しいスマートホーム・デバイスを発売する企業で働いています。このプロダクトは、消費者の居住状況や時間帯に基づいて暖房、冷房、照明を自動調整することで、エネルギー消費を削減することを目的としています。プロジェクト・マネジャーには、プロジェクトを完了するために50万ドルの予算と6か月の期間が与えられました。プロジェクト・チームは、エンジニア、マーケティング担当者、営業担当者で構成されています。最近の市場分析によると、環境に優しいプロダクトの需要が高まっていますが、すでに複数の確立されたブランドが市場に参入しており、競争は激しいものとなっています。さらに、同社はリリース初年度に10%の市場シェアを獲得するという目標を設定しています。

エンジニアリング・チームは、既存のスマートホーム・システムとの互換性の確保、ユーザーのプライバシーとデータ・セキュリティの維持など、いくつかの技術的課題を特定しました。マーケティング・チームは、消費者のプライバシーに関する懸念に対処しつつ、プロダクト独自のフィーチャーを強調する魅力的なキャンペーンを構築するタスクを負っています。営業チームは、流通チャネルを最大化するため、小売業者やオンライン・プラットフォームとのパートナーシップの確立に注力しています。

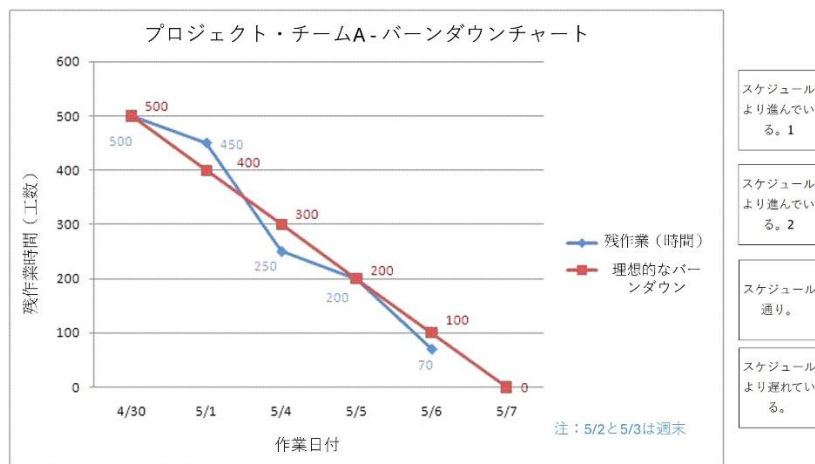
シナリオに基づき、このプロダクトの立ち上げにおいてプロジェクト・マネジャーが直面する可能性のある主な課題は何ですか。また、それらの課題にどのように優先順位を付けるべきですか。

- A. マーケティングのみに注力する
- B. 技術的フィーチャーを過度に強調する
- C. プライバシー保護措置を遅らせる
- D. 技術的互換性

### 資格認定試験におけるケースまたはシナリオの例

**マッチング精度向上**：強化されたマッチング問題には、マッチング項目を明確にするための画像や図が含まれることがあります。下の例では、受験者は右側のボックスの1つをチャートの特定の場所にドラッグします。ドラッグ・アンド・ドロップ機能など、ユーザーが項目を移動させてマッチングさせることができるような追加要素を含むこともあります。（CBTのみ利用可能）

右側にある「プロジェクトの状況」ボックスを使って、各ボックスをプロジェクトがその状況を示すバーンダウンチャート上のポイントにドラッグしてください。各ボックスがチャートの特定のポイントに対応していることを確認してから次の質問に進んでください。



### 資格認定試験での強化されたマッチングの例

**グラフィックベースの質問（新）**：このタイプの問題では、受験者がチャート、グラフ、図、画像などの視覚情報を参照して解釈してから、提供された情報に基づいて質問に答える必要があります。（すべての受験形態で利用可能）

要求トレーサビリティマトリックス (RTM) プロジェクト計画書からの抜粋

C9	A	B
1	要件ID	要件の説明
2	RQ001	Cloud (SFSC) のB2B顧客サービスの標準機能。BSCスタッフが電子メール代わりにSFSCを使用して、現在の課題を解決
3	RQ002	電子メール転送を加速させ、CSAの介入が必要なメールの数を減らす
4	RQ003	電子メールの解決スピードを改善し、タイムリーな顧客対応を実現
5	RQ004	BIやソリューション使用状況の可視性を含む高度な分析
6	RQ005	AIによるケース分類の自動化、最適な回答の生成、ケース要約
7	RQ006	各ケース後のCSAT調査と自動エスカレーション
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

ビジネス・ソリューション・センター (BSC) でスタッフの離職率が高く、B2B顧客に大きなフラストレーションが生じています。その主な原因は、Outlookメールに保存されていた過去の情報が失われたことです。この課題を軽減するため、BSCはSalesforce Service Cloud (SFSC) を採用し、顧客からの問い合わせの可視性と管理を強化するとともに、その他の機能を提供しようとしています。年次計画演習によると、このプロジェクトは年間1,000万ドルの成果を上げると期待されていますが、提示されたビジネス・ケースでは400万ドルのベネフィットしか示されていませんでした。結果として、ビジネス・スポンサーは、ビジネス・トランスフォーメーション・オフィス (BTO) の懸念に対処し、アジャイル実務者と連携して明確化する必要があります。

Salesforce Service Cloudの導入において、400万ドルの削減効果に最も貢献する具体的な要件はどれですか。

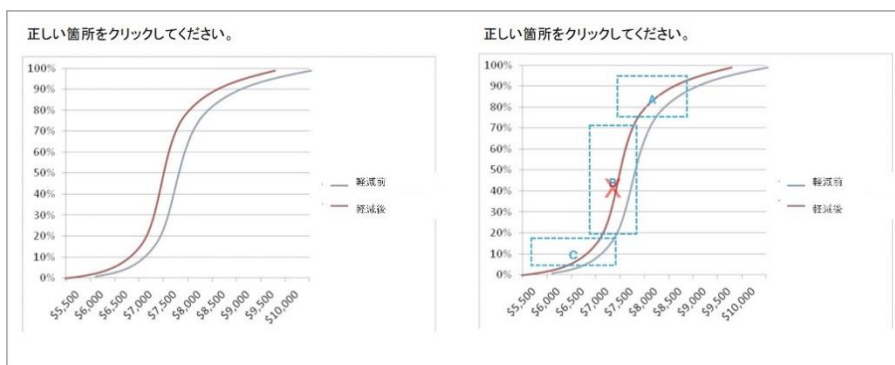
- A. RQ001
- B. RQ002
- C. RQ003
- D. RQ004
- E. RQ005

資格認定試験におけるグラフィックベースの問題の例

**単一回答の選択肢**：複数の選択肢があるものの、正解は1つです。（すべての受験形態で利用可能）

**複数回答の質問**：1つ以上の正解を含む選択肢です。（すべての受験形態で利用可能）

**ポイント・アンド・クリック**：この項目は、隠されたホットスポット領域を持つ画像形式です。受験者は、画像の正しい場所をクリックして、正しいエリアを特定する必要があります。左の画像は、受験者が見ることになる例です。右の画像は、受験者が選択して回答できるエリアを示しています（CBTのみ利用可能）。



資格認定試験におけるポイント・アンド・クリックの例

**マッチング**：候補者は、異なるリストの項目をペアにするように求められます。情報が列で構成されています。課題は、1列目の項目を真ん中にドラッグして、3列目の情報に対応させることです。以下の例は、受験者が回答する前（右）と回答した後（左）の一致問題を示すものです。  
(CBTのみ利用可能)

役割と対応する職務記述書をマッチさせてください。		
役割		
機能部門マネジャー		チームをリードしてプロジェクトの目標達成に責任を負います。
ステークホルダー		業務部門のマネジメントの監督業務に集中します。
ポートフォリオ・マネジャー		プロジェクトのアクティビティや成果によって影響を受ける立場にあるため、プロジェクトへのインプットを提供します。
プロジェクト・マネジャー		報告責任のあるマネジメント・スタッフおよびプログラム・プロジェクト委員のマネジメントまたは調整を行います。

役割と対応する職務記述書をマッチさせてください。		
役割		
機能部門マネジャー	機能部門マネジャー	チームをリードしてプロジェクトの目標達成に責任を負います。
ステークホルダー	ステークホルダー	業務部門のマネジメントの監督業務に集中します。
ポートフォリオ・マネジャー	ポートフォリオ・マネジャー	プロジェクトのアクティビティや成果によって影響を受ける立場にあるため、プロジェクトへのインプットを提供します。
プロジェクト・マネジャー	プロジェクト・マネジャー	報告責任のあるマネジメント・スタッフおよびプログラム・プロジェクト委員のマネジメントまたは調整を行います。

資格認定試験でのマッチングの例

**プルダウン・リスト**：正解は、以下に示すドロップダウンリストから選択する必要があります。  
(CBTのみ利用可能)

計画書には、アクティビティ、所要期間の見積り、依存関係が含まれます。

選択… 選択… 要求事項マネジメント計画書 コスト・マネジメント計画書 <b>スコープ・マネジメント計画書</b> スケジュール・マネジメント計画書 変更マネジメント計画書 品質マネジメント計画書
---

資格認定試験のプルダウンリストの例

# PMP資格認定試験の受験

PMP資格認定試験は、テストセンターで直接コンピューターまたはスキャントロンを使用して受験するか、オンラインで試験監督官付きで受験することができます。[PMI®資格認定ハンドブック](#)に記載されている試験当日の指示およびチェックイン手続きを必ずご確認ください。

## 会場での試験：コンピューター・ベース試験（CBT）およびペーパー・ベース試験（PBT）

- 試験会場とその空き状況（推奨）については、お近くの試験会場を次のサイトにアクセスしてご確認ください：<https://www.pearsonvue.com/us/en/pmi.html>
- 中国本土のプロフェッショナル試験の実施は、ATA test servicesが提供するPBTのみで受験可能です。詳細については、[PMI資格認定ハンドブック](#)をご確認ください。

## オンライン監督試験（OPT）

オンライン監督試験では、システムテストと入念なチェックインプロセスがあります。これらのプロセスを完了できるように、試験前に十分な時間を確保してください。

- OnVueオンライン監視によるオンライン試験では、確認と完了が必要なシステムチェックについて、以下にアクセスしてご確認ください。  
<https://www.pearsonvue.com/us/en/pmi/onvue.html>
- OPT受験者は、休憩から戻った後、試験を再開する前に、監督者から身分証明書の提示を求められる場合があります。
- 日本および韓国の受験者で、現地の言語でOPT受験オプションを選択する場合は、ATA test servicesによって監督されます。詳細については、[PMI資格認定ハンドブック](#)をご確認ください。

# PMP資格認定試験の再受験

最初の試験で合格しなかった場合は、学習を続けて再受験することをお勧めします。受験資格のある1年間に、最大3回まで受験できます。3回受験した後は、最終受験日から1年間待つから認定資格に再申込みする必要があります。この方針は、試験のセキュリティを維持し、個々の受験者への試験問題の過度な露出を減らすために決められています。ただし、当該年の間は、他のPMI資格認定に申し込むことができます。

1年間の受験資格期間内に試験に合格できなかった場合、3回未満の受験であっても、資格認定の再申し込みが必要です。この方針は、資格要件を維持し、受験者の申し込みに含まれるすべての経験が10年の上限に適合することを確実にするために設計されています。ただしその場合、待機期間は適用されません。

# 謝辞

プロジェクトマネジメント協会（PMI）は、当該分野専門家（SME）の皆様のご支援に感謝するとともに、プロジェクトマネジメントの専門分野への卓越した貢献にも感謝いたします。PMIは、PMP®資格認定プログラムの開発に関し、以下の世界各地のSMEの皆様に貢献していただいたことを大変光栄に思います（敬称略）。

Shane Allua, PhD, PMP  
Loay Mohamed Ibrahim Aly, PMP, PMI-ACP, PMI-PMOCP, DASM, GPM-b  
Lisa Au, PMP, PMI-ACP  
Jason Chow, PhD, PMI-ACP, PMP  
Mohamad ElHelaly, MSc, PMP, PMI-RMP, PMI-PBA, P30  
Gabriela Ewachiw, PMP  
Luis Eduardo Franca, PMP, PMI-ACP, PMI-PMOCP, PMI-CPMAI  
Dr. Edward J. Hoffman  
Regina Holzinger PhD, PMP  
Nestor Jimenez, PMP, PMI-PBA, PMI-ACP, PMI-RMP  
Rosana Juestel, PMP, DASM  
Keiichiro Kaneko, PMP  
Alankar Karpe, PMP, PMI-ACP  
Nina Li (Li Nannan), PMP, PMI-ACP  
Husam T. Maghrabi, PMP, PgMP, PfMP, PMI-ACP, AHPP  
Casey Marks, PhD  
Walters Nfortoh, PMP  
Awotunde Olaoluwa, PMP  
Manuel Ortiz de Zevallos, PMP  
Adriana Pavón Navarrete, PMP  
Falguni Rolekar, PMP, PMI-ACP, DASSM  
Miguel Santos, PMP, PMI-ACP, DASSM  
Mercedes Martinez Sanz, PhD, PMP, PMI-ACP, PMI-PBA  
David Schatzman, MBA, DBA, PMP, PgMP, PfMP, PMI-SP, PMI-RMP  
Radha Somasundaram, PMP  
Nok Wing Szeto, Ernie, PMP, DASSM  
Bisi Toro-Popoola, B.Eng, MBA, Pgd .ED  
Esteban Villegas, PMP, PgMP, PMI-ACP, PMI-CPMAI, GPM-b  
Kris Williams, PMP, PMI-ACP



# 資格認定継続要件（CCR）プログラム

PMP資格認定を正常に取得された後は、3年ごとに60の専門能力開発単位（PDU）を修了して提出し、資格更新料を支払うことで、資格を維持できます。

CCRプログラムの詳細、およびPDUを取得して記録する方法については、以下にアクセスして、CCRハンドブックをご確認ください。<https://www.pmi.org/certifications/certification-resources/maintain>

## リソース資料

PMI.orgの[PMP試験準備](#)ページに記載されているPMP資格認定試験の関連資料を必ずご確認ください。

PMIは、認定準備のための特定の復習コース、リソース、参考文献、その他の教材を推奨してはいません。ここに示す参考文献には、利用可能なすべての資料を網羅しているものではありません。また、これらを使用すれば必ず合格できるという意味でもありません。

PMP資格認定試験は、単一のテキストに準拠したものではなく、特定の参考書だけで対策できるものでもありません。これらの参考文献は、PMP資格認定試験の問題を作成するボランティアのプロジェクト専門家が最も頻繁に引用しているものです。参考文献リストは、便宜上の理由でのみ提供されています。